

自己評価報告書

(令和元年度)

学校法人 高知理容美容学園

高知理容美容専門学校

1. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	適切…4、ほぼ適切…3、 やや適切…2、不適切…1
教育目標および本年度重点的に取組む目標に沿った指導を行っている。	④ 3 2 1
1-2 学校における職業教育の特色は何か	
職業人として必要な専門知識・技術指導はもちろん、その土台となる社会性についても身につける指導をしている。	4 ③ 2 1
1-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	
『業界および学校』の現状や将来的な展望を考え、日々の業務に取り組んでいる。	4 ③ 2 1
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	
入学ガイダンスや入学後のオリエンテーション、また、三者面談などで伝えている。	4 ③ 2 1
1-5 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	
業界のニーズに対応したカリキュラムで指導している。	4 ③ 2 1

① 課題

関係深い理美容業界との連携をさらに深め、業界の求める人物像を的確につかみ、教育目標等に反映していくこと。そうした学校の取組を学生及び保護者に周知し、明解度を深めていく。

② 今後の改善方策

産学連携を推進し、本学園の教育への参画及び協力を求めながら、互いのメリットのある関係を構築していく。

③ 特記事項

2020年度よりスタートする高等教育の修学支援制度に向けて文部科学省より認定校として承認を賜った。

(2). 学校運営

2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	
年度始めの職員会において、理事長・学校長より発表された当年度の目標について、全教職員が共通認識をもって取り組んでいる。	4 (3) 2 1
2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
事業計画については、運営方針やその年度の目標に沿って策定されている。	(4) 3 2 1
2-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	
役職者の権限や責務について、役割分担が明確化されている。	(4) 3 2 1
2-4 人事・給与に関する規程等は整備されているか	
「就業規則」「給与・旅費規程」等で明確化されている。	4 (3) 2 1
2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	
寄附行為に基づいて、理事会において意思決定を行っている。	4 (3) 2 1
2-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
コンプライアンス規程及びコンプライアンス委員会規定を定め、全教職員が遵守している。	4 (3) 2 1
2-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
学校 HP にて概要、目標、教育方針並びに教育・就職、学納金、財務、学校評価など全般を開示している。	4 (3) 2 1
2-8 情報システム化等に業務の効率化が図られているか	
教務・事務共に業務内容に合わせたシステム管理ソフトを導入し業務の効率化を図っている。	4 (3) 2 1

① 課題

学校運営上の意思決定機能は職務権限として明確化できておらず、上長への相談と指示命令によるところが大きい。

② 今後の改善方策

明確な運営規則の制度、マニュアル制定が必要と考えている。

③特記事項

学則に始まり全体の規則、規程等の見直しを行っている。

(3). 教育活動

3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	
実社会で必要とされる知識や技術を習得できるカリキュラムを設定し、社会性やコミュニケーション力を身に付けることを目標とした授業構成を行っている。	④ 3 2 1
3-2 教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
各学年・学科・教科において、各担当者が年間の授業計画を作成しそれに沿った授業を行っている。	4 ③ 2 1
3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	
学科ごとに専門知識・技術を学ぶ時間を十分に確保したカリキュラムを設定している。また、毎年のカリキュラムは各学科で検討している。	④ 3 2 1
3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	
「自己啓発セミナー」や特別授業などを通して社会性や人間性の育成に取り組んでいる。また、業界人からの話を聞くことで明確な将来像を描けるよう取り組んでいる。	4 ③ 2 1
3-5 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	
カリキュラムについては「高知県理容・美容生活衛生同業組合」また、「日本理容美容教育センター」の意見を参考に設定している。	4 ③ 2 1
3-6 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	
約1週間の「理美容室での校外実習」を2年間で数回実施しサロンワークを学んでいる。また、業界人を外部講師として迎え、より実践的な技術習得に取り組んでいる。	4 ③ 2 1
3-7 授業評価の実施・評価体制はあるか	
授業を教員間で見学し合い意見交換し、学校全体で授業改善や資質向上に取り組んでいる。	④ 3 2 1

3-8 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか				
カリキュラム変更等については、業界の経営者の方々の意見を参考に設定している。	4	③	2	1
3-9 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか				
学生や保護者に対して入学ガイダンスや入学後のオリエンテーションで「入学のしおり・履修について」の資料を用いて説明している。	④	3	2	1
3-10 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか				
資格取得を目指す教科科目についてはそれに合わせた体系的なカリキュラムを組んでいる。また、科目ごとに授業計画を作成しそれに沿った授業を行っている。	④	3	2	1
3-11 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか				
各教員が実務経験を活かし指導している。また、日々進歩する技術・知識について自己研鑽に務めている。	④	3	2	1
3-12 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか				
業界の方や専門分野の担当者を外来講師として委嘱し、質の高い授業を実施している。	④	3	2	1
3-13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか				
教職員が自己研鑽できる時間を設定している。また、各研修に積極的に参加し研鑽に務めている。	4	3	②	1
3-14 職員の能力開発のための研修等が行われているか				
関連団体等が主催する様々な教職員研修会について、全教職員が積極的に参加している。	4	③	2	1

① 課題

関連業界から離れて久しい教員もいる中で、業界の最新の技術等を修得する機会が少ない。

② 今後の改善方策

教育課程編成委員会の業界委員からの意見を受けて、教育活動への反映を検討している。業界団体から講師を招き、学生と教員ともが専門の知識・技術を修得出来るように機会を更に作っていく

③ 特記事項

業界団体関係者からの意見を広く受けて、外部評価を把握していくことにしている。

(4). 学修成果

4-1 就職率の向上が図られているか	
1年生の早い時期からサロン説明会や就職フェアに参加することで就職活動に対する意識付けをし、2年生進級前に就職活動を兼ねて実施されるサロンでの校外実習に繋げることで就職率の向上を図っている。	④ 3 2 1
4-2 資格取得率の向上が図られているか	
国家試験に向けて早い時期に意識を持たせるため、2年生進級後に家庭学習の機会を与え自主性を高めている。また、放課後の時間帯を利用して個別指導を行うことで各種資格取得率の向上を図っている。	4 ③ 2 1
4-3 退学率の低減が図られているか	
出席状況や学習成績について教職員間で情報を共有し学生対応している。また、出席状況が悪い学生については保護者に連絡をとり協力を依頼し、保護者を含めた三者面談を取り入れて、初期段階でその原因を把握し対応することで退学率の低減を図っている。	4 ③ 2 1
4-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
関連団体主催のコンテストや本校のサロン説明会等で一部の卒業生については活躍を把握できている。	4 ③ 2 1
4-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	
業界に就職した卒業生から、学校で学んだ知識や技術がどのように活用されているか情報を収集している。また、動向を追跡調査している。	4 3 ② 1

① 課題

休退学防止のために日々保護者と共有化を図り連携を徹底している。学校生活の中で学修意欲、就業意欲の醸成と向上に関して、今後改善の余地あり。

② 今後の改善方策

クラス担任による学習成果、学校生活の状況などの情報収集により、学生の変化をタイムリーに把握しながら学校全体でサポートする体制を作る。

③ 特記事項

学生アンケート、保護者アンケートなどを活用していく。

(5). 学生支援

5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	
学生一人一人の就職希望を学年団で把握し対応している。また、迷っている学生に対しては選択基準や選択肢を提示するなど、きめ細やかな就職支援を行っている。	④ 3 2 1
5-2 学生相談に関する体制は整備されているか	
学生の少しの変化に対応すべく、学年主任・担任・副担任で学生対応にあたり、変化の見える学生に対しては声かけを細かく行うことで、教職員から「相談機会」をつくるようコミュニケーションを図っている。	4 ③ 2 1
5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
入学時の経済的負担を軽減する「入学時0円サポート制度」を導入し、学費の分納を可能にしている。また、学費減免制度を拡充し、支援体制を充実させた。	4 ③ 2 1
5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
毎年胸部X線写真を学生全員が撮影している。また、通学時や授業中の不慮の事故に対する傷害保険にも加入し、学生の健康管理に努めている。	④ 3 2 1
5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	
クラブ活動は特にはないが、各種コンテスト出場学生に対しては放課後も技術指導を行ったりしている。又ボランティア活動については積極的に支援している。	4 ③ 2 1
5-6 学生の生活環境への支援は行われているか	
一人暮らしの学生に対し、学生アパート等の斡旋を行い安心できる生活環境の支援に務めている。	4 ③ 2 1
5-7 保護者と適切に連携しているか	
欠席や遅刻・早退があれば随時保護者に連絡をとっている。また、出席状況が悪い学生に対しては保護者の協力を依頼し、初期段階でその原因を把握できるよう努めている。	④ 3 2 1
5-8 卒業生への支援体制はあるか	
在学時に国家試験を合格できなかった卒業生に対し、国家試験前の対策授業への参加を無料で行い、国家資格取得まで引続き支援している。卒業生との交流機会が少なく情報交換が十分でない。	4 3 ② 1

5-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
社会人としての生活を意識させるため「挨拶」「礼儀作法」「自主性」など、日々伝えることで職業意識向上を図っている。	4 (3) 2 1
5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	
高知県専修学校各種学校連合会のキャリア教育推進委員の一員として、県内専修学校と協力しながら県内の高等学校・中学校・小学校で幅広いキャリア教育や職業教育を実施している。	4 (3) 2 1

① 課題

学校運営全般において保護者との連携を通して、理解を深めていきたいと、定期的に保護者宛に RIBIYOU 通信を送り、コミュニケーションをとっている。又、問題行動のある学生の連携も行い共有化を図っているが体制確保まで至っていない。

② 今後の改善方策

入学後に相互に情報交換できる機会を作り、信頼関係を高める必要がある。

③ 特記事項

(6). 教育環境

6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	
理容師・美容師養成施設指定規則に従い必要な教室・実習室・設備など整備している。	④ 3 2 1
6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	
実践的なサロンワークを学ぶ事を目的とした「校外実習」を、県内外の理美容室と連携し実施している。	4 ③ 2 1
6-3 防災に対する体制は整備されているか	
複数名の防火管理者を設置し、その下に毎年1回の避難訓練を実施して災害等に備えている。	4 3 ② 1

① 課題

事業継続計画（BCP）の早期策定、また備蓄等含めた総合防災計画の充実に努めること。又、有事を想定した訓練などの体制を強化していく。実習先企業様とは生徒の希望をとってご依頼して行っている。

③ 今後の改善方策

防災関係の充実を一步一步具体的に進めていく

③ 特記事項

(7). 学生の受入れ募集

7-1 学生募集活動は、適正に行われているか	
学校案内やホームページで本校の特徴について紹介している。また、広報担当者の高校訪問・進学ガイダンス参加などの活動を通して、入学希望者に情報提供している。より具体的に学習内容や学校生活を理解・体験していただけるように「オープンキャンパス」を実施している。	④ 3 2 1
7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
就職率や資格取得率、またコンテスト等での成績を学生募集の対象者に公表している。また、教育成果の広報においては事実を正確に伝えている。	④ 3 2 1
7-3 学納金は妥当なものとなっているか	
他校の学費水準も把握したうえで理事会の承認を得て決定している。	④ 3 2 1

① 課題

高校生、社会人等に向けてホームページを通して随時情報開示している。

② 今後の改善方策

最近では経済的事情のある生徒も多く、学費減免制度の充実等の学費サポートをOC説明会などを通して解りやすく伝えていくように努めていきたい。

③ 特記事項

(8). 財務

8-1 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	
前年度決算報告および次年度予算状況から財政基盤は安定に向かっていると見える。	4 (3) 2 1
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	
予算の編成および執行に関しては寄付行為に定められており、また、財務諸表に関しては学校法人会計基準に従い作成し、理事会・評議員会において目的、有効性が審議され妥当なものとなっている。	(4) 3 2 1
8-3 財務について会計監査が適正に行われているか	
寄付行為に基づき監事が監査を行い、監査報告書を理事会および評議員会に提出している。また、通常の監査に加え中間監査を行い適正な財務管理を行っている。	(4) 3 2 1
8-4 財務情報公開の体制準備はできているか	
保護者などの学校関係者から情報開示請求があった場合には、理事会の承認を得た決算書を閲覧できるようにしている。「情報開示ガイドライン」に基づきホームページに開示している。	(4) 3 2 1

① 課題

県内人口並びに18歳人口の減少に歯止めがかからず、募集定員の見直しを行った。そうした状況を想定して今後の事業計画が安定化していく様に取り組んでいる。

② 今後の改善方策

将来を見据えた学校の在り方を具体的に検討していく。

③ 特記事項

(9). 法令等の遵守

9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	
学校教育法及び専修学校設置基準等、関係法令や学内規程を遵守して、学校運営を行っている。	④ 3 2 1
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
個人情報に関しては、目的外使用とならないよう全教職員が共通認識を持って十分な配慮のもと扱っている。また、学外に流出することが無いよう原則として個人情報の学外持出しを禁止している。	4 ③ 2 1
9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
教職員全員が記入した自己評価シートに基づき問題点やその改善策を洗い出し、次年度の事業計画に反映させている。また、自己評価についても質の向上を図るため教職員からの意見提案を次年度に反映している。	4 ③ 2 1
9-4 自己評価結果を公開しているか	
自己評価の開示を求める方に対しては「自己評価報告書」を閲覧できるようにしている。	④ 3 2 1

① 課題

教職員全員の法令順守に対する啓蒙を継続的に行っていく。

② 今後の改善方策

自己評価の各問題点に対して具体的な改善策を講じていく。

③ 特記事項

令和元年度より自己評価結果を公開した。

(10). 社会貢献・地域貢献

10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	
教室や実習室等を「休日および授業時間外」に一般開放している。	④ 3 2 1
10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
県内地域興しのイベントにボランティア参加し、学生の取組を積極的に支援している。	4 ③ 2 1
10-3 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	
国家試験を受験する卒業生に対して、試験前の国家試験対策授業を公開し、そこに参加することを促している。	4 ③ 2 1

① 課題

地域貢献活動においては十分とは言えない。

② 今後の改善方策

地域貢献を目的とした教育活動を通して地域から信頼される学校として努力していく。

③ 特記事項